



田坂広志名誉学長 社会起業大学 特別公開講座

昨年末の衆議院選挙で、民主主義自体のあり方を変えていこうという新たな運動が起きていました。その中の一つが、デモクラシー2.0イニシアティブです。インターネットが普及し、国民が社会に直接発信できる今の時代において、政治と有権者の新たな関係を考えるムーブメントです。それは、すべての草の根の人々が新たな社会づくりに参加する「参加型民主主義」を実現し、民主主義のさらなる進化と深化をめざすソーシャル・ムーブメントです。この国を変えるのは、他の誰でもない、我々一人ひとりという覚悟。その覚悟を定めるとき、我々は、「参加型民主主義」の時代を切り拓くことができるのでしょ

う。田坂広志名誉学長の予見する、参加型民主主義の時代。それは、これから、我々が切り拓いていく未来です。その素晴らしい未来に向けた第一歩を、会場の皆様へのメッセージとしてお話いただきます。



講師

社会起業大学 名誉学長
社会起業家フォーラム 代表
多摩大学大学院 教授
シンクタンク・ソフィアバンク 代表

田坂 広志 氏

講演テーマ

社会起業家が切り拓く参加型民主主義の時代 — この国を良くするために、今やるべきこと —

講師プロフィール

1951年生まれ。1974年、東京大学工学部卒業。
1981年、東京大学大学院修了。工学博士(原子力工学)。
1987年、米国シンクタンク、Battelle Memorial Institute客員研究員。
同時に、米国国立研究所Pacific Northwest National Laboratories客員研究員。
1990年、日本総合研究所の設立に参画。取締役・創発戦略センター所長を務め、現在、日本総合研究所フェロー。
1999年、米国New England Complex Systems Instituteのファカルティに就任。
2000年、多摩大学大学院教授に就任。
2000年、21世紀の社会システムのパラダイム転換をめざすグローバル・シンクタンク、ソフィアバンクを設立。代表に就任。
2003年、社会起業家フォーラム(JSEF)を設立。代表に就任。
2005年、米国ニューヨークに本拠を置き、100年の歴史を持つJapan Societyより、“US-Japan Innovators”に選ばれる。
2008年、ダボス会議を主催するWorld Economic ForumのGlobal Agenda Councilのメンバーに就任。
2010年、4人のノーベル賞受賞者が名誉会員を務める世界賢人会議Club of Budapestの日本代表に就任。
2011年3月29日～9月2日、内閣官房参与として原発事故対策、原子力行政改革、原子力政策転換に取り組む。
著書は60冊余。現在、海外でも旺盛な出版と講演の活動を行い、
Philosopher and Poetとしての独自のスタイルで国際的な活動を展開している。

日時	2013年3月12日(火) 19:00～21:30 (受付開始 18:30)
場所	津田ホール (JR総武線千駄ヶ谷駅 徒歩1分)
定員	300名
費用	3,000円(当日受付にてお支払いください。)
当日の内容	◇社会起業大学理事長挨拶 ◇田坂広志名誉学長 特別公開講座 ◇名刺交換会

会場地図



お申込みはHP(<http://www.socialvalue.jp/seminar/detail000639.html>)、またはメールにて(info@socialvalue.jp)

【お問い合わせ先】 社会起業大学 運営事務局 TEL:03-6380-8444/FAX:03-6272-5888/MAIL:info@socialvalue.jp